

(参考様式5)

### 事業活用活性化計画目標評価報告書

| 計画主体名           | 計画主体コード | 計画番号 | 計画期間              | 実施期間              |
|-----------------|---------|------|-------------------|-------------------|
| 宮崎県日向市          | 452068  | 1    | 平成21年度～<br>平成23年度 | 平成21年度～<br>平成23年度 |
| 活性化計画の区域        |         |      |                   |                   |
| 宮崎県 日向市<br>塩見地区 |         |      |                   |                   |

#### 1 事業活用活性化計画目標の達成状況

| 事業活用活性化計画目標              | 目標値A   | 実績値B   | 達成率(%)<br>B/A | 備考 |
|--------------------------|--------|--------|---------------|----|
| 定住等の促進に資する農業用排水施設等の機能の確保 | 64.0ha | 64.0ha | 100           |    |
|                          |        |        |               |    |
|                          |        |        |               |    |
|                          |        |        |               |    |

(コメント)

目標である「定住等の促進に資する農業用排水施設等の機能の確保」は、計画していた農業用排水路の整備により、64haの目標を達成することができた。  
今後は担い手の確保と定住化向け、区域内の活動支援等の充実を図っていきたいと考える。

#### 2 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果

| 事業メニュー名   | 事業内容及び事業量   |        |            | 事業実施主体 |
|---|-------------|--------|------------|--------|
| 基盤整備事業<br>(農業用排水路施設)  | 用水路工 L=172m |        |            | 日向市    |
| 管理主体  | 事業着工年度      | 事業竣工年度 | 供用開始日      |        |
| 日向市   | 平成21年度      | 平成23年度 | 平成24年3月26日 |        |
| 事業の効果   |             |        |            |        |
| 用水路の機能確保により、農業用水の安定供給から優良農地の条件整備を整えることで、農業の活性化並びに営農意欲の促進が図られ、目標であった担い手の増加に貢献することができた。 |             |        |            |        |

#### 3 総合評価

本事業によって、地域営農の効率性、生産性の向上に貢献することができた。また、担い手となる若い世代の就農及び営農組織の活動による地域間・世代間交流等により、農業の活性化に貢献することができた。

また、本用水路は農業用水だけでなく、一部が日向市の上水道の水源としても使用されていることから、用水路改修事業により崩落事故の危険を軽減させたことは、農地の機能保全だけでなく、地域住民の生活環境の整備にも多大に貢献することができた。

#### 4 第三者の意見

農業用排水路の整備を行うことにより、農業用水の安定確保が可能となり、目標面積も達成することができたと評価される。また、本用水路は一部上水道の水源としても使用されていることから、農地の機能保全だけでなく、地域住民の生活環境の向上にも貢献している。今後は、農地流動化の進展と遊休農地の解消に努め、農業生産性の向上、農業所得の向上を達成し、地域活性化を図ることが期待される。

(九州大学大学院農学研究院 教授 福田 晋)

#### 【 記入要領 】

- (1) 計画主体コード、計画番号は年度別事業実施計画に記入した番号とすること。
- (2) 「1 事業活用活性化計画目標の達成の状況」のコメントには、目標が未達成となった場合は、その理由を記入すること。また、達成状況が低調である場合は実施要綱第8の2の(1)及び(2)に基づき改善計画を作成し、農林水産大臣に提出すること。
- (3) 「2 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果」は事業メニュー毎に作成すること。また、「事業の効果」には事業の実施により発現した効果（農山漁村の活性化に関連する効果）を幅広に記入すること。